

令和2年度 地方創生関連交付金事業の実績一覧

資料3

個別戦略の番号	開始年度	終了年度	事業名	事業概要	R2年度/R3年度の事業概要	R2総事業費(決算額:円)	重要業績評価指標(KPI)	R1実績	R2実績(単年度目標)	目標年度の目標値	未達成であった場合、その理由
2-1 4-2	H30 (2018)	R2 (2020)	スポーツチームと中心市街地の事業者が共同で取り組む人の流れと需要の拡大事業	三遠ネオフェニックスを始めとしたスポーツに関わる様々な人材や地域資源をつなぎ、魅力発信及び新たな魅力創出の充実を図り、スポーツを活用したまちづくりを推進する。	-----令和2年度事業----- ○地域資源を使った三遠ネオフェニックス応援グルメ商品・グッズ開発・販売事業 ・フェニックスベリーピレーネ、まるっとたまごのプリンセーキ・フェニックスベリーMIX、フェニックスエールクッキー、フェニックスワイン、フェニックスワインクーラー、クラフトビール「RED PHOENIX GOLDEN ALE」、三遠ネオフェニックス×間瀬織布工場オリジナルサコッシュ、ナップサック、トートバッグ ○三遠ネオフェニックスの試合と連動したスポーツイベント ・コロナウイルスのため中止 ○スポーツアプリを活用した情報発信 ・「ええじゃないか豊橋スポーツアプリ」の周知、スポーツ情報や三遠ネオフェニックスの選手によるおすすめ店舗やお土産の配信、まちなか店舗等のクーポン情報配信	9,583,640	三遠ネオフェニックスのホームゲーム1回あたりの平均入場者数	2,417人	3,081人	3,157人	新型コロナウイルス感染症の影響により、入場者数が減ったと考えられるため。
							三遠ネオフェニックスのファンクラブカード所有者によるブーストショップ消費額	14千円	0千円	6,000千円	新型コロナウイルス感染症の影響で、カード所有者による飲食店などのブーストショップの利用が減ったこと、カード所有者へのブーストショップ利用特典の周知不足であると考えられる。
							地域資源を使った応援グッズ等の開発数【累計】	0件	9件	5件	達成
							中心市街地で実施するホームゲーム連動イベント等への参加人数	860人	0人	1,000人	新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントが中止になったため。
3-2	R1 (2019)	R3 (2021)	近未来技術等を活用した「AIケアシティ」形成事業	介護、健康づくり、教育、子育ての現場などに近未来技術等を活用したシステムを導入するとともに実用性を高めて社会実装を図ります。	-----令和2年度事業----- ○対話型自動問合せ対応システムの運用 ・県下共同運用に変更。 ・令和2年度は約15,000の質問に対応した。 ○分身ロボットを活用した院内学級等での実証研究 ・3人が活用し、図工の時間や休み時間に級友と触れ合った。 -----令和3年度事業----- ○対話型自動問合せ対応システムの運用・充実 ○分身ロボットを活用した院内学級等での実証研究 ○AIを搭載した健康管理アプリの実証	2,878,352	要支援・要介護認定者数の推計値と実数との差	841人	752人 (80人)	150人	達成
							福祉事業所において「AIを活用したケアプラン作成支援システム」により作成したケアプランの数【累計】	291件	370件 (772件)	1,400件	AIが提供する機能とケアマネが求める機能に乖離があるため。
							とよはし健康マイレージアプリ登録者数【累計】	7,338人	10,265人 (10,000人)	12,000人	達成
							分身ロボットを活用して支援した子どもの人数(年間延べ支援人数)【累計】	0人	3人 (3人)	5人	達成
2-2	R2 (2020)	R4 (2022)	地方を舞台とした映像作品から始まる関係人口の拡大と新たなふるさと創出プロジェクト(福島市と連携)	「エール」放映を契機とした官民連携及び豊橋市との連携により、豊橋市のさらなる付加価値を創出し、福島市の広域連携事業を通じた地域間交流を活性化させ、他地域との触れ合いの中で互いの地域を経済・文化面などで応援する関係人口の新たなふるさと創出を目指す。	-----令和2年度事業----- ○エール関連イベント ・ロケセットなどの番組展、豊橋福島にちなんだ物産展、二階堂ふみさん出演の時代体験イベントなど ○エール電車の運行 ・豊橋鉄道路面電車でのエール電車を番組放映期間中に運行した。 ○オブジェの設置 ・番組OPのロケ地である表浜海岸にオブジェを設置。 ・番組にちなんだ花のステージ「エール」を豊橋公園に設置 ○その他プロモーション ・インスタコンテスト、ポスター・パンフレットの作成 -----令和3年度事業----- ○エール関連イベント ○オブジェの設置 ○福島市との交流イベント	28,684,199	豊橋市と福島市の観光入込客数の和	7,927千人	6,839千人 (8,027千人)	8,297千人	新型コロナウイルス感染症の影響で、県外移動などが制限され、観光客が抑制されたため。
							「エール」関連イベント数と福島市との交流イベント数の和	0人	30件 (8件)	30件	達成
							ロケ資産となる映像作品本数	14件	26件 (15件)	18件	達成
2-2 4-1	R2 (2020)	R4 (2022)	東三河「スポーツツーリズム」推進プロジェクト(愛知県、東三河8市町村と連携)	「東三河スポーツツーリズム」を地域一体となって力強く推進し、スポーツを切り口に「交流人口の拡大」、周遊性・滞在性の向上による「地域産業の活性化」、地元団体・住民の主体的な参加を促し、地域全体で「おもてなしの心」を醸成し、「スポーツツーリズム」の盛んな地域づくりを目指す。	-----令和2年度事業----- ○道の駅とよはしを中心としたスポーツ体験 ・レンタサイクル、サーフィンなどのアクティビティ体験の実施 ○サイクリストの推進 ・豊橋鉄道への助成(渥美線でのサイクリスト車両の表示) ○サイクリストの環境整備 ・豊橋駅での更衣室、自転車組み立て場所の設置 ・道の駅とよはしコインロッカーや着替えスペースの整備 -----令和3年度事業----- ○道の駅とよはしを中心としたスポーツ体験型観光 ○サイクリストの推進 ○サイクリストの環境整備	10,909,179	東三河地域の年間観光入込客数	24,583千人	16,621千人 (25,383千人)	26,400千人	新型コロナウイルス感染症の影響で、県外移動などが制限され、観光客が抑制されたため。
							東三河地域の宿泊者数	2,308千人	1,299千人 (2,428千人)	2,760千人	新型コロナウイルス感染症の影響で、県外移動などが制限され、観光客が抑制されたため。
							東三河地域の道の駅の売上額	3,456百万円	3,485百万円 (3,576百万円)	2,760百万円	新型コロナウイルス感染症の影響で、県外移動などが制限され、観光客が抑制されたため。
							東三河地域の観光旅行者用レンタサイクルの貸出件数	5,153件	2,702件 (5,313件)	3,680件	新型コロナウイルス感染症の影響で、県外移動などが制限され、観光客が抑制されたため。
合 計						52,055,370					